

プロの生演奏を学校生活の思い出に

九州を拠点に活動するプロオーケストラ・九州交響楽団が、町内の全中学生660人に向けたコンサートを田川文化センターで行いました。約1時間で、「運命」や「カルメン」など聴き覚えのある6曲を演奏。各校代表1名による指揮者体験も行われ、タクトを振った生徒はプロの演奏が自分の指揮についてくる感覚に感動していました。



↑同級生たちが見守る会場で、堂々とした指揮を見せる赤池中の原田友希くん。

↓選手は笑顔で力強くキネを振り下ろし、周囲から大きな拍手が上がりました。



伝統文化で歓迎し広げた国際交流の輪

福智町の恒例行事となっている国際車いすテニス大会参加者との交歓会が5月20日に行われ、熱戦を終えた各国の選手を金田体育館に迎えました。この日のために準備を重ねた日本の伝統食や芸能で選手を歓迎。最後は会場内の選手やスタッフ、来場者が大きな輪になり炭抗節を総踊りし、国を超えた交流を締めくくりました。

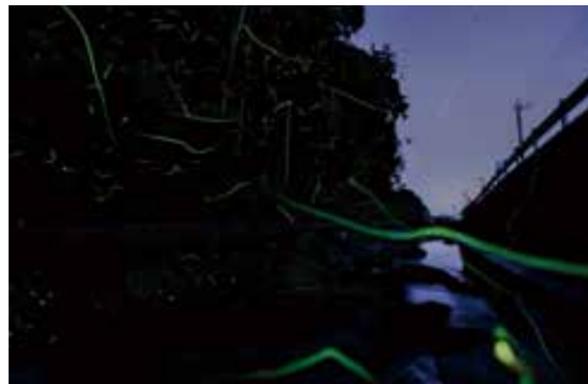
観光大使IKKOさん里帰りロケ

福智町観光大使の美容家・IKKOさんが6月14日に帰省し、フジテレビのバラエティ番組「フルタチさん」の芸能人里帰り企画が町内で収録されました。IKKOさんは、金田駅前、伊方小など思い出の場所を巡り、ゆかりの人たちとも対面。この地の方言もピックアップされる放送は、7月中の日曜日に行われる予定です。



↑伊方小そばにある駄菓子屋「菊池商店」で、昔話に花を咲かせるIKKOさん。

↓蛍の動きが最も活発になると言われる午後8時ごろ、上野の福智川沿いの風景。



町の清流で蛍の乱舞 蛍の光がいざなう幽玄な世界

毎年5月末から6月上旬にかけて見ごろを迎える蛍の乱舞が町内各所の清流で見られ、期間中は多くの見物客が訪れました。福智町に多く生息する「ゲンジボタル」は蛍の中でも大型で、特に強い光を放つのが特徴。手をつないだ親子は光を放つ蛍を見守るように声を潜め、美しい情景を満喫した様子でした。

↓「男性が沈みかけていたので最終手段で飛び込むしかないと。助かってよかったです」と竹澤さん。



人命救助の竹澤さんに感謝状 尊い命救った勇気ある行動

竹澤匠平さん(19歳・赤池)が、5月27日に鞍手町の浮州池で溺れていた50代の男性を助けました。救助隊が到着し陸地に引き上げるまでの約20分間、竹澤さんはバタ足で男性の体を下から支え「頑張ってください」と声をかけながら懸命に救助。自らの危険をかえりみず尊い命を救った竹澤さんには、直方・鞍手消防本部から6月8日に感謝状が贈られました。

心と向き合う活動を讃えて表彰 人権擁護委員表彰

広く人権相談を受け付け、人権思想の普及に努める人権擁護委員。日頃の活動を讃え、本田美津江さん(伊方)に法務省人権擁護局長感謝状が、渡邊巧さん(神崎)に全国人権擁護委員連合会長表彰が5月26日に贈られました。



子どもの人権問題に意欲的に向き合ってきた本田さんは、「今後は高齢者や女性の問題にも取り組んでいきたい」と思いを語りました。

←長期にわたり活動し、特に功績を認められた委員に送られる法務省感謝状を手にする本田さん。

↓勇壮な音楽の節目ごとに気迫のこもった掛け声をあげた赤池中の男子生徒。



町内三中学校体育祭 競技を通して深めた親睦

強い日差しが照りつける中、町内三中学校の体育祭が5月21日に行われ、各校の生徒は暑さをもとせず練習の成果を発揮しました。赤池中では全国的に見直されている組体操に代わる演目として、初めて棒体操を実施。初挑戦を感じさせない息の合った演技を披露した生徒に、会場から大きな声援と拍手が送られていました。